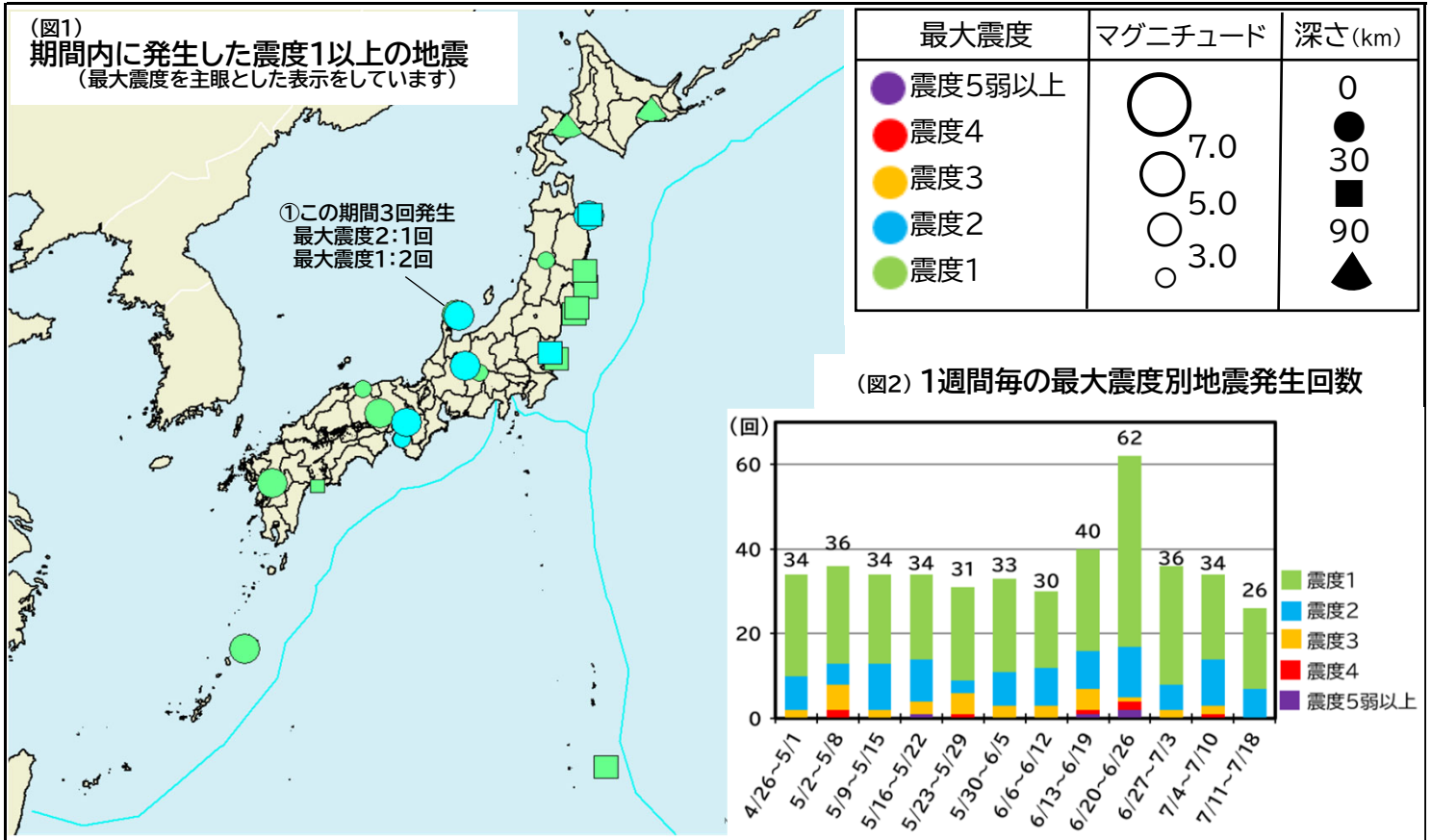


この期間の最大震度は2

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が26回発生。最大震度は2。■

・この期間の最大震度は2で、最大震度3以上の地震の発生はなかった。

①2020年12月から地震活動が活発になっている能登半島北東部では、今期間、震度1以上を観測した地震が3回 (震度2:1回、震度1:2回)発生(トピックス参照)。

トピックス

■ 能登半島北東部の地震について「地震調査委員長見解」■

- ・活発な地震活動が継続している能登半島北東部の地震活動や地殻変動について、7月11日に政府の地震調査委員会から下記のような「地震調査委員長見解」が示された。
- ・今回の能登半島北東部の地震活動は、同規模の地震が長期間継続して発生しており、一連の地震活動は、現在のところ減衰する傾向は見えず、依然として活発な状態が継続している(図3, 図4)。
- ・発生原因としては、地震活動が活発になっている能登半島北東部の地震活動域の地下深くで生じた水により圧力が高まったり、亀裂が広がって地震を引き起こしている可能性があるが、原因を特定することは困難。
- ・地震活動は活発な状態が継続しており地殻変動も引き続き継続していることなどから、一連の地震活動は当分続くと考えられる。
- ・今回のような地震活動は、日本国内でこれまでも時々見られており、1年以上継続した地震活動もある。
- ・海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要もある。
- ・改めて、日頃からの地震への備えを確認することが大切。

